

記者国語

魚の釣り方ガイド①

クラス

番号

名前

読み方(聞き方)篇 Ⅱ 手段 インプリント 答えアリ 筋トレⅡ大事だけど、おもしろない
20世紀型入試Ⅱ論理的思考力のみⅡ(言い換える力)・(ツツこむ力)・(比べる力)
目的を意識Ⅱアウトプット「書き方・話し方(小論文・プレゼン)」

★目標「書くように、読め！」

○スタンス「異質を楽しむ・謙虚に」

※ファクト(事実)詰めつつ、ストーリーにする。

○スキル 「イイタイコト、見える化」

ボケ・ツツコミ、日常会話で訓練を。

※目の前に筆者の顔思い浮かべ、会話を「イメージ」※マーキングできれば、読めなくても解ける！

①「横の読み」(ツツもかて)の、大きな流れを予測しつつ、読み始める

「AはCだと思う」→「なぜならB」つまりC「例えは」→「Xではなくて○だから」

②「縦の読み」SGTマーキング

○(SGT)「ボケ」見つけたら、「ツツコミ」(↓↓⇄)で、詰める

・ボケ「3つのサインSGT(主張・具体例前後・対比明け)にマーキングⅡ線引く」
・ツツコミ「聞き方3つ」(「どういふことかⅡ」「なぜか↓」「どっちがうのか」)

2、主張・短

「Cだと思う」

主張 である系 (+心情)

Cなのである・思う(考える・感じる・気がする)

主張 重要だ系 (+重視)

Aは重要(大切・注意・問題)だ

2、主張・長(理由・言い換え・具体例) 「なぜなら」「つまり」「例えは」

具体例前後 前後にマーク・具体例に×印 抽象(具体例・比喩引用) 抽象

3、対立意見↓4、反論 「Xではなくて○である」

対比明け

Aではなくて、Bである。Aだけでなく、Bも

○小説のマーキングは心情一択。Sマーキング。主人公の心情には○。主人公以外は▽
+αで、心情の原因となる「出来事」には、傍線・マーキングしておく。

解き方篇「読み方(聞き方)」

20世紀型の受験国語(答えアリ)の目標Ⅱ論理的思考力のみ

★目標「読めなくても、解ける」 ※内容が分からなくて、イイタイコトは掴める

①ナ・ナ・イ一択

1、「何が・どう」(赤・青)

AはCだと思う(感じる) 傍線拡大スラッシュ

2、「なぜ」(緑)

B探す(①理由)( ) (②対立意見)( )

3、「言い換え」(青)

Cの言い換えに、特に注意。

○全体の解き方スキル

・ 目指す完全解答の文型 「Aは、Bではなく、Bだから、Cだと思う(感じる)」

・ 解答の差がつくポイントは、「なぜⅡBではなく、Bだから」を探し、盛り込むこと。

・ 1ポイントⅡ20字。超重要。意識を！

・ 制限字数や枠の大きさから逆算して、何ポイント入れるべきか、判断。

・ 「対立意見」を入れるべきかは、字数や枠の大きさから判断する。

・ 点数稼ぐ為には、しっかりマーキングを。読み終えた段階で、答えが浮かんでくる。

○ 評論の解き方スキル

・ 「言い換え」「なぜ」どこ探す？ Ⅱ 傍線部移動のテクニク

↓ Aを探す。その述語が、言い換え・なぜの根拠だ。↓遠く探さない！マーキング中心に探せ

○ 小説の解き方スキル (「心情の評論文」。評論と同じく、「書くように、聞け・読め！」)

・ 心情はどこにある？ 傍線部(約6行前(同じ段落) 過去回想の場合、回想明けに、心情特定

・ 傍線部内に、心情アリ なぜ(理由)・何が(対象)に根拠 心情ナシ 心情特定に根拠

・ 心情入っていない選択肢×

「縦の読み」

SGT マーキング詳細

○3) SGT (主張・具体例前後・対比明け) だけ、マーキングの詳細

※読み方(聞き方)だけではなく、書き方(話し方)⇨小論文・プレゼンにも、生かせる！

つ〇 掴み (引用・具体例でキヤッチ) ・本題と一見無関係な、引用(謎を)⇨主張具体例のちら魅せ

も① 問題提起 (独自ユース発見)

「Aについて」 内容が分からなくなったら、主述注目「何は、どうだ」「何が、何を、どうする」

1、疑問詞(なに・なぜ・どう)

注目 1つだけ 8割冒頭

Aとは、何であろうか。

精神とは、何であろうか。…Aだ

なぜか。

Bであるからだ。

どうしてだろうか。

・主題提起(Aについて考えてみよう) 強弱のリズム・相同

・頻出語句

・出典(文章タイトル)

2、定義・命名

Aとは、Bである。 定義

AをBと呼ぶ。

命名

か② 解決(得意分野でストーリーライン)

1、主張・短

「Cだと思う」+表現 注目 ※先に、対立⇨反論の来る時もあり

1、主張である系 (+心情)

Cなのである。思っ

考える。感じる。驚かす。

知らせたい・気づく・疑う・嫌悪を覚える・思われる・奇妙な

2、主張 重要だ系 (+重視)

Aは重要(大切・注意・問題)だ

Aが重要(本質・特徴・原因・前提)だ

Aこそ重要(まさしく) Bだ

最上級表現 最も Aだ。ますます 第一に Aだ。

特に・大きな比重・まさに

生命・大本・特色・根本・核・基盤・全く同じ

3、反語

Aではなからうか。

Aであろうか。

2、主張・長(理由・言い換え・具体例)

「なぜならB」「つまりC」「例えば」 分かりやすく(具体例・比喻)

1、具体例前後

★前後にマーク 具体例にX印

見落としやすいが重要 よく出る

抽象論⇨(具体例と)引用⇨抽象論

2、要約

つまり「要するに」、簡単に言えば、結果は、結果的に」 Bだ。

3、並列

第一に Aだ。 第二に Bだ。

まず Aだ。 次に Bだ。

その結果・言い換えれば、すなわち

3、対立意見(一)⇨4、反論(+X) Xではなくて、Oだから 説得力(対比否定・譲歩・逆説)

1、対比明け

Aではなくて Bである。

Aだけでなく、Bも

Aよりも Bの方が

いや、Oの方がわかりやすい。いや、さらに言うならば では終わらない

AはXであるのに対して、BはYである。

とは違って・反して

2、譲歩

確かに「もちろん・もちろん・なるほど」譲歩⇨しかし(逆説)、本音だ。

3、逆接

(段落冒頭・本文最初の逆接であれば、マーキング)

したとして、そのに、そので、その

て③ 提案(喜怒哀楽・人生・人間観) キヤッチに戻り、「なるほどね」と余韻を。

★結論

1、二重否定

「反対意見のキーワード」ではない

最終段落か、その近く多い 結論

## 記者国語

### 魚の釣り方ガイド③

クラス

番号

名前

## ■「読み方(聞き方)」の手順説明書

### (目的を意識) ※マインドセット

- ① 苦手な人の読み方⇒字だけを追っついて、気持ちが入っていない! どうする? ② **超大事!** **まず、読むための「目的」を意識。** 初読の場合、タイトル見て、テーマを認識。つまり、「ブレゼン(小論文)」のネタ探しのイメージ。すると、主体的に読める。
- ③ 次に、筆者が目の前にいると思い、**会話をイメージ。**  
・会話に望むスタンスとしては、「異質を楽しむ・謙虚に」のスタンスで、  
相手は情報をくれる大切な人だという思いで、**心を落ち着かせる⇒マインドセット。**

### (読み方目標)「書くように、読め!」(⇒点数がとれる)

- ④ そのためには、**早く深く「相手のイイタイコト」を掴む必要がある。**
- ⑤ まずは、「横の読み」。相手の「イイタイコト」を掴むため、  
・**横の読み**「**つもかて**(の)流れを意識しながら、読み始める。  
・「**つ**(掴み)」「**も**(問題提起)」「**を**掴もうとする。」
- ⑥ 次に、「縦の読み」。相手の「ボケ」⇒**3つのサイン**「**SGT**」が聞こえたら、  
・「**どういつごとか**」「**なぜか**」「**どっちがうのか**」で、「**ツツ**」を入れる。  
・「**ツツ**」ミを入れながら、  
・**「つもかて」の意味段落ごと**に、「**書くように、読ん**」でいく。**要約できていく。**
- ⑦ そうすると、ファクト(事実)を詰めながら、ストーリーが出来上がる。  
つまり、相手の「イイタイコト」は掴める。
- ⑧ こうして、「相手のイイタイコト」を早く深く掴めたら、**価値判断**できる。
- ⑨ ちなみに、「書くように、読む」スキルで、  
・**マーキングが出来れば、答えの根拠が浮かび上がってくる。**  
・**だから、マーキングは、しつかり、出来るようにする。**「生使える!」

### (解き方目標)「読めなくても、解ける」(※内容が分からなくても、イイタイコトは掴める)

- ⑩ 解き方は、「**ナナイ**」1択。全ての問題は、「**ナナイ**」で解ける。  
つまり、「**Aは**、**Bでは**なく、**Bだから**、**Cだ**と思う(感じる)」「の完全解答を目指す。
- ⑪ 「**どういつごとか**」問題のキーは、「**Bでは**なく、**Bだから**」の理由を
- ⑫ **「どういつごとか」は、1ポイント20字の字数により判断する。最難は自分で言い換え**

### (将来像) AI超えの「国語力ベースのコミュカ」を(※ボケ・ツツ・ミ)。日常会話で鍛えろ!

- ⑬ **国語は、思考力のベースだ!** 言葉(語彙・知識 論理)↓思考・世界。
- ⑭ AIに勝てるのは、読解力に基づいた「**ミニコミュニケーション力**」。
- ⑮ **「どう鍛える?」**「読書」できるなら、もちろんOK  
でも、「聞く」ことは、「読む」スキルに活用できる!なので、日常会話でも鍛えよう!
- ⑯ **具体的には、ボケとツツ・ミを意識していく。結果的に、点数上がるぜ!**